

一人の子どもの生活体験をもとに、そこにかかわっている子どもたちが疑似体験をし、たくさんの学びをしています。



風邪やインフルエンザでお休みの子が多くなると、遊びにその様子が反映されています。「注射するよ〜」細長いブロックを注射に見立てて「腕を出してください」「消毒します〜」「もう少し我慢だからねー」など自分が経験したことを表現している様子が見られ、病院ごっこが続いています。

基地作りをしていて、生活できるように万全の準備が進む中、基地がいつのまにかキャンピングカーに転じていきました。

ベット、食料、荷物をきれいに使いやすいように並べて、温泉、レストラン、ショッピングセンターなど巡って楽しんで知る様子がありました。

自分が経験したことをごっこ遊びで表現している子どもたちですが、病気になって病院に行った経験でも、看護師さんの対応が違ったり、お医者さんの話し方が違ったりしていることを表現しながら知りいろいろな在り方を体得している様子が見られます。自分が経験したことだけでなく、友だちの経験も自分のものにし、本当に病院に行った時の心つもりになっていることを感じます。



どこで知ったのかキャンピングカーや車内販売のワゴン、ジュースの自動販売機など自分たちの生活している中で見たり聞いたり使ってみたりしていることを次々に遊びで表現して楽しんでいる姿が見られています。自分たちのイメージに沿った内容にブロックや積み木、段ボールを使って工夫して作っています。イメージが表現できるように、イメージを出し合って作り出していくことができるように材料の提供、遊びのヒントを出していきたいと思っています。

「かしこく生きる」ために育てておくべき資質とは、人と人のつながりの中で生きていけることです。



基本保育時間は、7:00~19:00です。

7:00~7:30、  
18:30~19:00  
の利用の場合は、  
お知らせください。



## 2月のおしらせ

○雪が降りましたら、雪遊びをしたいと思います。

防寒服・防寒靴・手袋・帽子などご準備ください。

なお、雪遊びなど外での活動を体調などを考えた時に、控えたほうが良いときは、ご連絡ください。

○インフルエンザが流行っています。水分補給を十分にし、体を冷やさないようにして(温めて)過ごすことで、乗り切っていきましょう。

